

第 9 回定時社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会は 2012 年 5 月 28 日 14 時から、東京都新宿区新宿 6-14-1、新宿文化センター第一会議室において定時社員総会を開催した。

定刻に、会長八板富榮は議長席に着き、開会を宣し、次のとおり定足数に達する社員の出席があったので本総会は適法に成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

正会員数 424 名

出席正会員数 226 名

第一議案 2011 年度事業報告

本部事業報告を議長が読み上げ、支部事業報告は支部代表が説明し、承認を求めたところ、満場一致をもって承認された。

添付資料 1

第二議案 2011 年度会計報告

鎌田晶博会計統括執行理事の報告の後、承認を求めたところ、満場一致をもって承認された。

第三議案 役員改選案

理事及び監事の任期満了に伴い改選をするため、候補者の氏名を示して諮ったところ、満場一致をもって以下のとおり可決した。

また、被選任者のうち出席した者はすべて即時就任を承諾した。

理事

網野 岳俊 (重任)

大野 正美 (重任)

丹羽 功 (重任)

小野 隆浩 (重任)

鎌田 晶博 (重任)

木枝 義雄 (重任)

高崎 利成 (重任)

鷹栖 了 (重任)

深尾 康史 (重任)

八板 富榮 (重任)

山形 等 (重任)

高橋 洋平 (新任)

監事

三好 直樹 (重任)

第四議案 2012 年度事業計画案

議長は、2012 年度事業計画について提案し、質疑応答のうえ承認を求めたところ、満場一致をもって異議なく可決決定した。

添付資料 2

第五議案 2012 年度予算案

鎌田晶博会計統括執行理事は、2012 年度予算案を示し、承認を求めたところ、満場一致をもって可決決定した。

以上を以って本日の議事が終了したので、議長は 15 時 20 分に閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため本議事録を作成し、議長及び出席理事全員が次に記名押印する。

2012 年 5 月 28 日

一般社団法人日本音響家協会

議長理事	八板	富榮	印
理事	網野	岳俊	印
理事	大野	正美	印
理事	鎌田	晶博	印
理事	木枝	義雄	印
理事	高崎	利成	印
理事	鷹栖	了	印
理事	丹羽	功	印
理事	深尾	康史	印
理事	山形	等	印
理事	大澤	実	印

●添付資料1 2011年度事業報告

1、概況

東日本大地震等による影響で、本部の事業収入は減少し、本部のイベントは他団体との共催または協賛という形で実施したが、会費による予算で運営する支部は有意義なイベントが各地で実施した。

2、会員の動向

現在の会員数は446名（内正会員424名）

3、事業報告

1)本部の主な活動

1-1、出版委員会

- ・機関誌「サウンドA&T」を4回発行（兼六館出版製作）
- ・プロ音響データブック四訂版編纂（リーターミュージック社刊行）

1-2、技能開発委員会主管事業

- ・2011年12月6日
西日本支部主催による音響家技能認定講座 / ビギナーズコース
共催：兵庫県立芸術文化センター
後援：近畿地区公立文化施設協議会
- ・2012年2月20日～21日
東日本支部主催による音響家技能認定講座 / ベーシックコース

1-3、協賛 / 共催事業

- ・2012年1月30日 裏方の教養講座「日本の音楽と西洋の音楽」
日本劇場技術者連盟主催
- ・2012年4月16日 劇場技術者寺子屋「舞台監督の仕事を学ぶ（演劇編）」
日本劇場技術者連盟主催

1-4、協会賞 豊田泰久氏を選定

1-5、優良ホール100選 新規1施設認定、2施設を取り消した。

1-6、理事会開催 5月24日、9月26日、10月30日（電磁的方法）、2012年3月19日

1-7、代表理事会議 11月28日

2)支部の主な活動

◎北海道支部事業

- 2011年7月26日 暑気払いビアパーティー
- 12月14日 セミナー「マイクロホンワークショップ～ギターピックアップ編」
- ・機関誌「サウンドA&T」2011年7月号特集記事の企画編集

◎東日本支部事業

- 2011年5月11日 ネットワーク勉強
- 7月5日 フィールドレコーダー タッチ&トライ
- 12月12日 ネットワーク実験会
- 2012年2月20日～21日 音響家技能認定講座・ベーシックコース
- 2月29日 栃木県公文協研修会に共催

◎北陸支部事業

- 2011年5月10日 伝承セミナー「音塾」
- 9月13日 音響家のための教養セミナー「日本で演じられてきた演劇たち」
- 2012年2月7日 ホールを訪ねる及び第3回音響セミナー「オペラ・サウンドデザインの仕事」
- ・機関誌「サウンドA&T」2012年4月号特集記事の企画編集
- ・支部会員情報紙「小音響かわらばん」を6回発行

◎中部支部事業

- 2011年9月5日 見聞を広める施設見学会と懇親会

- 12月20日 会員のための音響セミナー・音響サロン
- 2012年1月23日 シリーズ・邦楽セミナー
- 2月22日 プロ音響機器展示会
- ・機関誌「サウンドA&T」2012年1月号特集記事の企画編集

◎西日本支部事業

- 2011年4月25日 座談会「災害時に音響家が協力できる事」
- 7月15日 オペラ・サウンドデザイン・セミナー「ウィンザーの陽気な女房たち」
- 7月15日 JAZZ音響を語る夕べ
- 7月16日 高砂高校ジャズバンド部 青春チャリティーコンサート協力
- 7月29日 裏方教養講座「日本で演じられてきた演劇」(共催事業)
- 11月29日 宮崎音響茶話会(九州ブロック)
- 12月6日 音響家技能認定講座/ビギナーズコース
- 2012年3月30日 第14回JAZZ音響塾

3)資金調達の状況

協会の運営費は会員からの会費で賄っているが、機関誌の出版経費は広告掲載料を充てている。しかし、広告の件数が減少していて、プロ音響データブックの印税等の収益を補填しても大きな損失が生じた。

●添付資料2 2012年度事業計画

ここ数年、音響関連のみならず、特に舞台等の技術者を取り巻く環境は著しく変化し、専門職としてではなくマルチタスクに携わるようになってきている。

この結果、音響専門の技術者が減少している。

このことを認識して、事業展開をしたい。

1) 音響家技能認定講座

受講者は減少していて、会員の受講者は皆無に等しい。したがって、計画的に実施して、効率良く開催したいので、開催地と時期を本部で調整して開催することとしたい。

2) 機関誌発行

出版委員会によって発行されているサウンドA&Tは、体裁を変更して、版下製作を委員の手で行うことで経費を削減、また発送経費の安価な発送代行業者を選定して、発行費を大きく削減して、本部の赤字を解消する。

3) ウェブサイト運営

長年利用していた貸サーバ会社を変更して、経費を1/2以下に軽減して運用する。

4) FAXのための電話回線変更

042-361-8982を安価なJ-COMと契約した。

5) 事業委員会の設置

技能開発委員会を事業委員会と改め(理事会で決定)、本部のイベントを推進したい。

本部の所在地である東京都府中市の市民団体から、ジャズフェスティバル(10月14日開催)の音響支援を要請されたので、そのプロジェクトを立ち上げて参加して、ジャズ音響の研究、学習の場としても活用したい。舞台進行として日本劇場技術者連盟が支援することになったので、連携して成功させたい。

その他、適宜にイベントを主催、または他団体との共催をしたい。

決 算 報 告 書

(第 9 期)

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本音響家協会

東京都府中市住吉町2-18-1-412

貸借対照表

一般社団法人 日本音響家協会

平成24年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 7,884,110】	【流 動 負 債】	【 2,676,479】
現 金	44,892	前 受 金	1,050,000
預 金	7,188,118	未 払 金	1,541,680
前 払 費 用	651,100	前 受 会 費	32,520
【固 定 資 産】	【 69,869】	預 り 金	52,279
(有 形 固 定 資 産)	(41,605)	負 債 合 計	2,676,479
工 具 器 具 備 品	41,605		
(無 形 固 定 資 産)	(28,264)		
商 標 権	28,264		
		純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【 5,277,500】
		資 本 金	3,000,000
		(利 益 剰 余 金)	(2,277,500)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	2,277,500
		損 失 て ん 補 準 備 金	530,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	1,747,500
		純 資 産 合 計	5,277,500
資 産 合 計	7,953,979	負 債 ・ 純 資 産 合 計	7,953,979

損益計算書

一般社団法人 日本音響家協会

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
正 会 員 年 会 費	3,379,186	
準 会 員 年 会 費	233,000	
雑 誌 広 告 収 入	2,019,585	
技 能 開 発 委 員 会 収 入	28,350	
印 税 収 入	1,229,214	
セ ミ ナ ー 等 収 入	1,657,215	
入 会 金	50,000	8,596,550
売上総利益金額		8,596,550
【販売費及び一般管理費】		9,548,233
営業損失金額		△951,683
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,023	
雑 収 入	206,135	207,158
経常損失金額		△744,525
税引前当期純損失金額		△744,525
当期純損失金額		△744,525

販売費及び一般管理費

一般社団法人 日本音響家協会

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
雑 誌 出 版 費	4,170,459
技能開発委員会事業費	186,258
講 演 料 ・ 謝 金	454,726
旅 費 交 通 費	1,249,359
通 信 発 送 費	539,390
接 待 交 際 費	279,031
減 価 償 却 費	132,568
備 品 消 耗 品 費	288,046
租 税 公 課	244,200
会 議 費	1,568,377
事 務 用 消 耗 品 費	153,219
支 払 手 数 料	82,995
諸 会 費	30,000
新 聞 図 書 費	34,052
商 標 権 減 価 償 却	12,090
雑 費	123,463
合 計	9,548,233

株主資本等変動計算書

一般社団法人 日本音響家協会

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

単位：円

	株主資本				
	資本金	利益剰余金			株主資本合計
		その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		損失てん補準備金	繰越利益剰余金		
当期首残高	3,000,000	530,000	2,492,025	3,022,025	6,022,025
当期変動額					
当期純損失			△744,525	△744,525	△744,525
当期変動額合計	-	-	△744,525	△744,525	△744,525
当期末残高	3,000,000	530,000	1,747,500	2,277,500	5,277,500

上記のとおりご報告申し上げます。

平成24年5月28日

一般社団法人 日本音響家協会

収入

内訳	予算	前年度決算	増減額
正会員年会費	3,300,000	3,379,186	-79,186
準会員年会費	230,000	233,000	-3,000
入会金	30,000	50,000	-20,000
雑誌広告収入	2,500,000	2,019,585	480,415
事業委員会収入	20,000	28,350	-8,350
印税収入	300,000	1,229,214	-929,214
セミナー等収入	1,500,000	1,657,215	-157,215
小計	7,880,000	8,596,550	-716,550
前期繰越	1,747,500	2,492,025	-744,525
計	9,627,500	11,088,575	-1,461,075

支出

内訳	予算	前年度決算	増減額
雑誌出版費	2,000,000	4,170,459	-2,170,459
事業委員会費	200,000	186,258	13,742
講演料・謝金	450,000	454,726	-4,726
通信運搬費	600,000	539,390	60,610
旅費交通費	1,200,000	1,249,359	-49,359
接待交際費	300,000	279,031	20,969
会議費	2,000,000	1,550,027	449,973
事務消耗品費	120,000	153,219	-33,219
備品消耗品費	120,000	401,126	-281,126
新聞図書費	5,000	34,052	-29,052
公租公課	70,000	244,200	-174,200
諸会費	30,000	30,000	0
支払手数料	100,000	82,995	17,005
減価償却費	18,000	19,488	-1,488
雑費	75,000	123,463	-48,463
小計	7,288,000	9,517,793	-2,229,793
予備費	2,339,500		
計	9,627,500		